



奈良県感染症情報

令和2年 第42週(10月12日～10月18日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報
- 9月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況)

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.53	(1.32)	➔	➔	➔	➔
2	ヘルパンギーナ	0.97	(0.76)	⬆	⬇	⬆	⬇
3	突発性発しん	0.47	(0.44)	➔	➔	➔	➔
4	A群溶連菌咽頭炎	0.44	(0.32)	⬆	⬆	⬆	⬆
5	水痘	0.26	(0.15)	⬆	⬆	⬆	⬆

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **⬆**急増、**⬆**増加、**➔**やや増加、**➔**横ばい、**⬇**やや減少、**⬇**減少

◆ 県内概況 ◆

県内で、今シーズン初となるノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生が報告されました。ノロウイルス感染症の症状は嘔吐や下痢、発熱ですが、その多くは数日で自然に回復します。予防には手洗いが有効ですので、調理前やトイレの後など、流水と石鹸によるこまめな手洗いを行うようにしましょう。

ヘルパンギーナの報告数が、増加を続けています。ヘルパンギーナは例年、夏に流行する疾患で、2～4日の潜伏期の後、突然の高熱と咽頭痛を生じます。予防法は、感染者との密接な接触を避けることや手指消毒を行うことです。

新型コロナウイルス感染症の対応を見直す政令の改正が、10月9日に開催された閣議で決定されました。この改正により、10月14日から、疑似症患者の届け出対象が入院患者のみとなりました。また、10月24日からは入院勧告・措置等についても見直されます。この改正に関する奈良県の対応については以下の URL を御参照ください(報道資料:<http://www.pref.nara.jp/secure/236849/1016houdou.pdf>)。

❁ 小児科外来情報 ❁

北部地区(田中小児科医院)

予防接種での受診以外の来院者は少ない。

風邪症状の発熱者は散見されるが、インフルエンザや登録疾患は見られない。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

短期の発熱例が増えてきたが、インフルエンザ様の疾患はまだない。

感染性腸炎は減少した。予防接種希望者が多いが他の感染症は少なかった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

遷延する軽症呼吸器感染症が増加してきた。対症療法でほぼ軽快する。

マイコプラズマや COVID-19 は陰性。インフルエンザやノロウイルスもみられない。

冬は特にご注意ください!

ノロウイルス による **食中毒**

食中毒は夏だけではなく、**ウイルスによる食中毒が冬に多発しています!!!**

データであるとして

ノロウイルスによる食中毒は、

- ◆ 罹患者数で第1位
- ◆ 発生頻度が多い
- ◆ 大規模な食中毒に及びやすい

その例

- ノロウイルス 65%
- 15,617人
- 11～2月 65%
- 348件
- ノロウイルス 38.0人
- その他 12.3人

ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

調理する人の健康管理	作業前などの手洗い	調理器具の消毒
<ul style="list-style-type: none"> ○ 調理から移動しないように食べものや調理の器具類に近づかない。 ○ 症状があるときは、食品を調理取扱う作業しない。 ○ 毎日作業開始前に調理器具の消毒作業を徹底し、責任者に報告する仕組みをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 洗うタイミングは、① トイレの後と② 調理前・食前・食後の手洗いの時。 ○ 流水で十分に洗い、石鹸で泡立ててよく洗う。 ○ 手洗いは、① 流水で洗い、② 石鹸で洗い、③ 流水で洗い、④ 手を拭く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 洗剤などで十分に洗浄し、熱湯で消毒する方法又はこれと同等の効果を有する方法で消毒する。

出典: 厚生労働省 HP

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 第 42 週 10 月 12 日 ~ 18 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	4 (0.12)	1 (0.11)	1 (0.11)	1 (0.14)	1 (0.17)			
A群溶連菌咽頭炎	15 (0.44)	4 (0.44)	7 (0.78)	1 (0.14)	2 (0.33)		1 (0.50)	
感染性胃腸炎	52 (1.53)	10 (1.11)	15 (1.67)	2 (0.29)	23 (3.83)	2 (2.00)		
水痘	9 (0.26)	6 (0.67)	2 (0.22)		1 (0.17)			
手足口病	3 (0.09)		1 (0.11)		2 (0.33)			
伝染性紅斑								
突発性発しん	16 (0.47)	3 (0.33)	2 (0.22)	4 (0.57)	7 (1.17)			
ヘルパンギーナ	33 (0.97)	2 (0.22)		10 (1.43)	20 (3.33)		1 (0.50)	
流行性耳下腺炎	1 (0.03)	1 (0.11)						
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	3 (0.30)		2 (0.67)	1 (0.50)				
葛城定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎	1 (0.17)				1 (1.00)			
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核7件(奈良市3、郡山2、中和1、内吉野1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(郡山1)
4類感染症	レジオネラ症2件(郡山2)
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(奈良市1) 梅毒2件(郡山1、中和1)

❖ 第42週のトピックス ❖

◆厚生労働省通知:新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令の一部を改正する政令等について

<https://www.mhlw.go.jp/content/000683018.pdf>

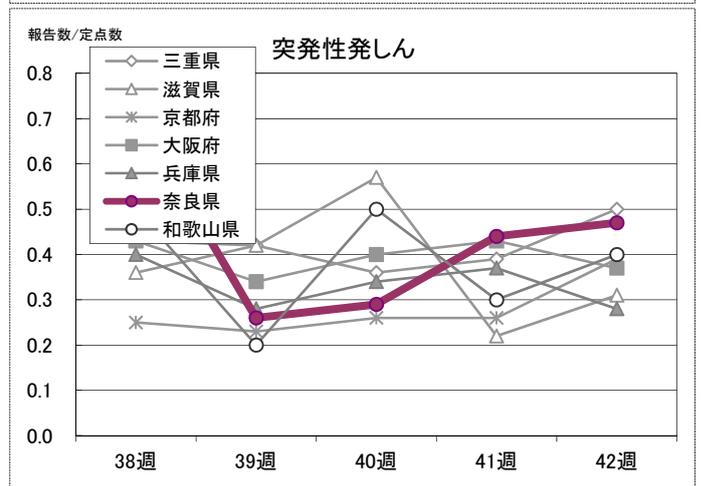
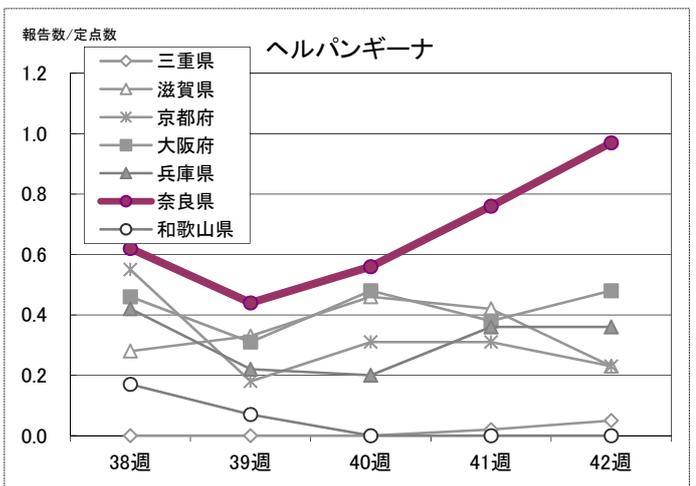
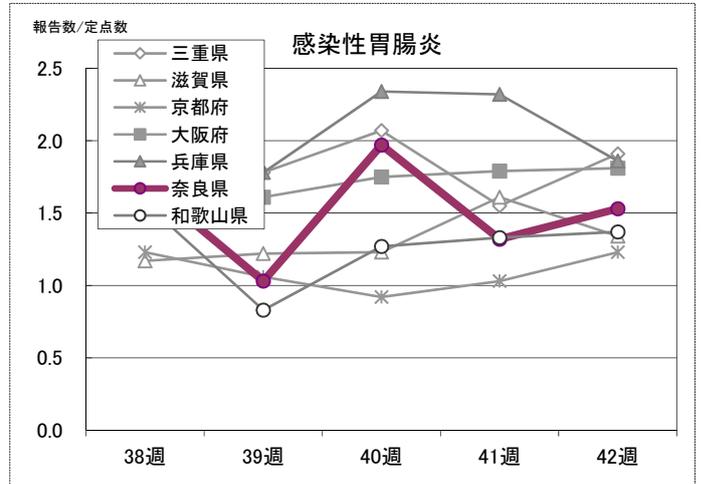
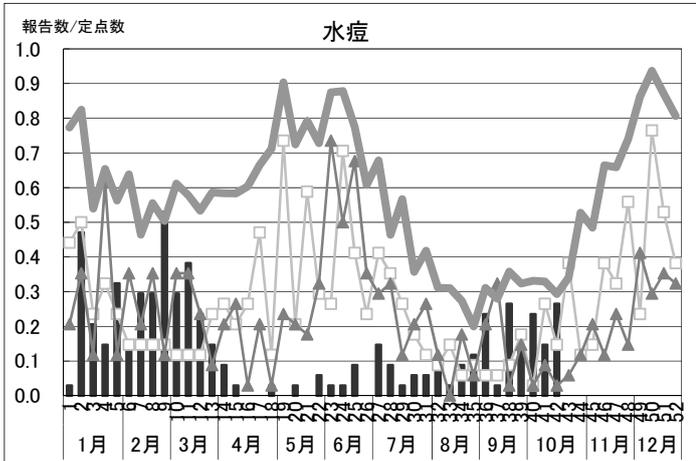
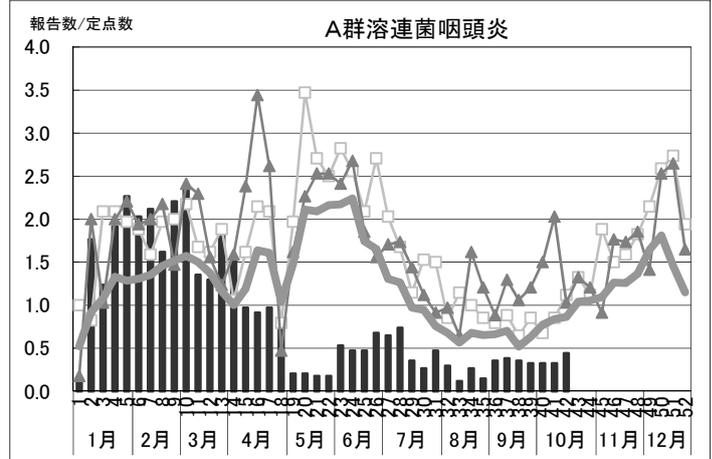
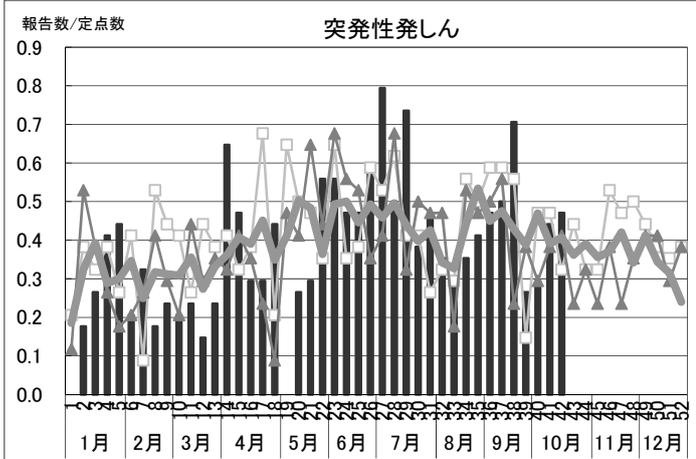
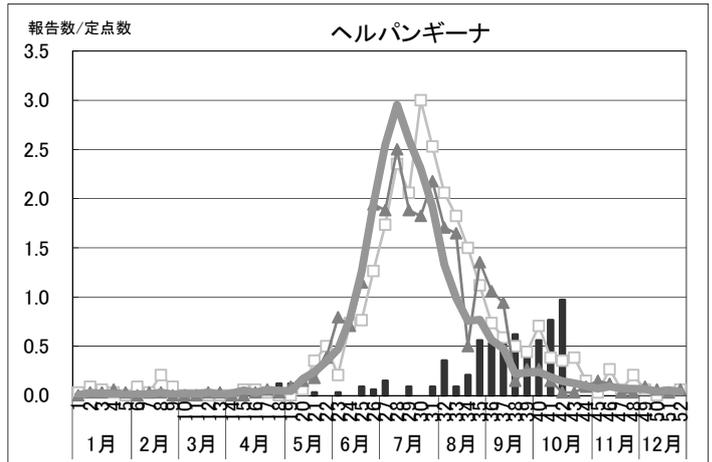
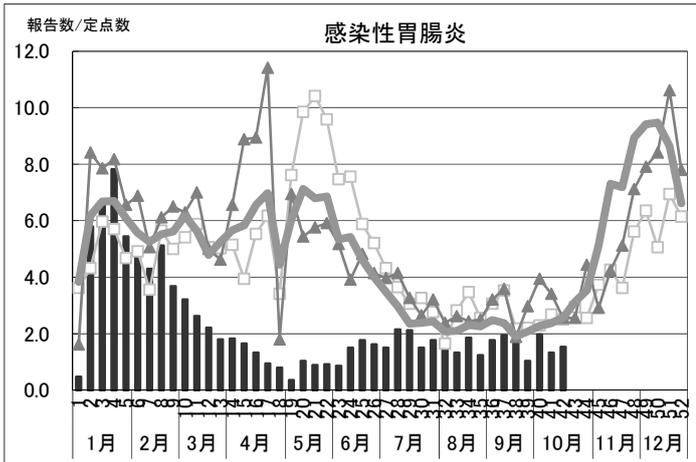
※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						3009
	女																						2919
RSウイルス感染症	男																						105
	女																						69
咽頭結膜熱	男			1	1																		2
	女					1	1																2
A群溶連菌咽頭炎	男			1		2	1	1	1	1													7
	女			1		1	1	1	1	2			1										8
感染性胃腸炎	男		2	3	4	2	1	1	2	1	1		5	1	7								30
	女	1		4		2	4	2	2	3				1	5								22
水痘	男				1	1			1	1		1											5
	女				1	1			1	1			1										4
手足口病	男			1	1																		2
	女													1									1
伝染性紅斑	男																						158
	女																						119
突発性発しん	男		2	5	2																		9
	女		3	4																			7
ヘルパンギーナ	男		1	6	9	2	1																19
	女			7	5	1							1										14
流行性耳下腺炎	男										1												1
	女																						15
急性出血性結膜炎	男												1										1
	女																1		1				3
流行性角結膜炎	男																						36
	女																						35
細菌性髄膜炎	男																						6
	女																						3
無菌性髄膜炎	男																						2
	女																1						1
マイコプラズマ肺炎	男																						15
	女																						14
クラミジア肺炎	男																						1
	女																						2
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						7
	女																						7

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 9 月

	北部		中部		南部		上段：報告数														合計	累計				
	奈良県	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野	(下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数																		
性感染症定点数	11	3	3	2	3	0	0	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計
性器クラミジア感染症	15 (1.36)	2 (0.67)	9 (3.00)	1 (0.50)	3 (1.00)	男								3	3	2		1	2				11	65
							女					1	1	1	1										4	73
性器ヘルペス	8 (0.73)	1 (0.33)	1 (0.33)		6 (2.00)	男													1				1	8
							女						2	1	1	1	1				1		1		7	39
尖圭コンジローマ	2 (0.18)		2 (0.67)			男					1	1											2	12
							女																			17
淋菌感染症	3 (0.27)	1 (0.33)	2 (0.67)			男								2					1				3	33
							女																			5
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	42 (7.00)	15 (15.00)	13 (6.50)	8 (8.00)	6 (6.00)	男	2	1		1		1					1	1	1		1	1	18	207
							女		1														2	2	9	119
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症						男																		5
							女																			7
薬剤耐性緑膿菌感染症						男																		1
							女																			1

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

